

ローズマインドに出会う旅～ばらの聖地をめざして～

ガーデンツーリズム登録制度
令和7年度登録計画事業実施報告



ばらのまち福山 ガーデンツーリズム協議会

令和8年3月

○具体的な事業実施状況

1) 事業名：活動拠点機能（ガーデンツーリズムセンター）の充実

(1) 事業概要

観光客や旅行会社からの問い合わせに対し、円滑かつ専門的にワンストップで対応する体制を整えるため、「ガーデンツーリズムセンター」を昨年度に引き続き運営した。

(2) 実施概要

実施時期：2025年4月1日（火）～2026年3月31日（火）

営業時間：月～金曜日 10:00～16:00

対応方法：電話、メール及び対面

委託会社：ニコニコ観光株式会社

場所：広島県福山市南本庄3丁目5-24（ニコニコ観光株式会社内）

(3) 問い合わせ実績

問い合わせ件数

	問い合わせ件数	内訳		
		予約 (ガーデン)	予約 (ガイド)	問い合わせ
4月	8	3	1	4
5月	15	4	6	5
6月	0	0	0	0
7月	0	0	0	0
8月	0	0	0	0
9月	0	0	0	0
10月	1	1	0	0
11月	0	0	0	0
12月	0	0	0	0
1月	0	0	0	0
2月	2	2	0	0
3月	3	2	0	1
計	29	12	7	10

個人ガーデンの予約状況

	予約数	内訳	
		個人	団体
マチモト薔薇農園	9	7	2
Jardin des Roses (おおもとウィメンズクリニック)	5	5	0
UEMOTO TENNIS SCHOOL & ROSEGARDEN	6	6	0
天満屋ギフトショップ 能宗呉服店 ばら花壇	1	1	0
ローズガーデン江草	21	16	5

問い合わせ件数としては決して多いとは言えないものの、電話で気軽に相談できる窓口があることは、個人のお客様や旅行会社にとって安心感につながり、ガーデンツーリズムをより身近に感じてもらうきっかけとなっていると考えられる。旅行の計画段階における不安や疑問に直接対応できる体制を整えておくことは、今後のリピーター獲得や満足度の向上にもつながる重要な取組であるといえる。利用者の声を今後の運営に活かしながら、より使いやすい窓口へと改良を重ね、継続していく。

2) 事業名：情報発信

(1) 事業概要

ガーデンツーリズムの魅力を広く発信するため、市内外に向けて各種媒体を活用した情報発信を行った。特に Instagram において開花状況をタイムリーに投稿したことで、多くの閲覧数を獲得し、認知拡大につながった。

(2) 実施概要

1. 公式 WEB サイトの更新

ガーデン情報やモデルコースの紹介など、情報発信の中心的な役割を担う。お知らせ欄で随時、最新情報を発信し、ガーデンツーリズムの入口として機能させている。



▲公式 WEB サイトトップページ

お知らせ欄投稿数：9

モデルコース追加数：2

- ・自然の中でリフレッシュ！神勝寺と福山の新名物「赤いうどん」を楽しむドライブコース
- ・ばらと海の絶景ドライブコース

2. メディア等への掲載

広島県観光連盟の WEB サイト DIVE！HIROSHIMA や福山市の公式 SNS でも情報を発信し、自治体・関係団体と連携した広域的な PR にも取り組んだ。



▲DIVE！HIROSHIMA 掲載イメージ

<福山市公式 LINE>

15 万人以上が登録する福山市公式 LINE にて情報発信を実施。福山市民の約 3 人に 1 人が利用する媒体であり、「ばらのまち」などのセグメント配信を活用することで、関心の高い層に対して効率的かつ確かな情報提供が可能。

3. 公式 Instagram

ガーデンツーリズムの強みである“映える”風景写真や動画を活かし、視覚的な魅力をダイレクトに伝える媒体として活用した。各ガーデンの開花状況や見どころを、担当者が午前中に撮影し、1 分～1 分半の動画として即日編集・投稿することで、タイムリーな情報発信を行った。コメントのやり取りなどを通じた交流も生まれ、ファンの獲得につながっている。

また、世界バラ会議公式 Instagram との相互リポストやメンションを行うことで、双方のフォロワー層への訴求が可能となり、相乗的な認知拡大につながった。

フォロワー数は約 1,000 と多くはないものの、関心の高いユーザーがフォローしており、イベント周知等に有効なツールとなっている。

フォロワー数：1,005 (3/23 時点)

投稿数：28

< 閲覧数の多かった投稿 >



①2025年5月9日投稿 (閲覧数: 4,813)
「今週末 (5/10・11) お出かけ前にチェック! 開花状況ばらスポット 5か所」

ばらの開花が進み始めた週の金曜日に投稿し、週末のおでかけ需要に合わせたタイミングで発信した。福山駅北口スクエア、ばら公園、緑町公園、福山サービスエリア、春日池公園の5か所の開花状況を動画で紹介し、複数のスポットをまとめて確認できる内容としたことで、多くの閲覧につながった。



②2025年9月11日投稿 (閲覧数 8,506)
「秋ばらイベント情報」

秋ばらのシーズンに合わせて、ばら公園で実施した無料ガイドツアーの告知を行った。タイムリーな情報発信により高い閲覧数を獲得するとともに、Instagram をきっかけとした来場も多く見られ、誘客につながった。

3) 事業名：認定ばらガイドローズマインドクラブの活動

(1) 事業概要

ガーデンツーリズムにおいて欠かせない“ばら”の魅力を専門的に伝える人材の育成を目的に、市内外から希望者を公募し、「認定ばらガイド ローズマインドクラブ」を昨年度、設立した。

今年度は新規募集を行うとともに、さらなるレベルアップを目的として、専門家を講師とした講座や、ばら公園における無料ガイドツアー（春・秋）を実施し、ガイドの活躍の場を拡大した。

これらの取組により、知識や案内スキル、経験値が確実に向上しており、ガーデンツーリズムの案内役として、さらには訪問者と地域をつなぐ重要な担い手としての活躍が一層期待されている。

(2) 実施概要

1. 養成講座の実施

実施日：2025年10月4日（土）10：00～15:30

会場：ローズアリーナ会議室

内容：・ガイドの基本

・ばらのまち福山の歴史

・ローズマインドに出会う旅とは

・私のガイド体験

- ・世界バラ会議福山大会 2025 とガーデンツーリズム
- ・緑町公園、ばら公園での実地研修

参加人数：30名（今年度から新規参加：18名/昨年度から継続参加：12名）

市内で観光ガイドとして活躍する方を講師に招き、身だしなみやふるまい、声の出し方、時間管理など、ガイドとしての基本を学んだ。続いてばら会関係者や市担当者からの講義では、ばらのまち福山の歴史やガーデンツーリズムに取り組む意義について理解を深めた。講師から「ローズマインドに出会う旅の主役の一人はばらガイドである」との言葉があり、ばらに関する知識にとどまらず、ばらガイドとしての役割や意義について認識を深める機会となった。

「私のガイド体験」のパートでは、昨年からの経験を持つガイドから「ばらのまちをPRしたい」「育った町・福山に恩返しをしたい」といった思いが共有され、新規参加のガイドからも「不安はあるが挑戦したい」といった前向きな声が多く聞かれた。

実地研修では、世界バラ会議福山大会のプロジェクトマネージャーであり、日本屈指のばら研究者である上田善弘氏を講師に迎え、緑町公園やばら公園に植栽されている様々な品種についての知識を深めた。



2. スキルアップ講座の実施

実施日：2025年12月5日（金）9:30～11:30

会場：緑町公園・ばら公園

内容：実地研修

参加者：13名

世界バラ会議福山大会（2025年5月）に向けた福山ばら公園や緑町公園等の改修において、ばらの栽培・納入および栽培管理指導に携わった「京都・洛西まつおえんげい」代表取締役 松尾正晃氏を講師に迎え、講習会を実施した。

当日は実際に公園内を歩きながら、植栽されている品種や管理の工夫について解説をいただき、実践的な知識の習得につながった。

また、事前にガイドから寄せられていた質問を松尾氏に共有し、当日は一つひとつ丁寧に回答いただいたことで、日頃の疑問の解消と理解を深めることができた。



3. ばら公園無料ガイドツアー

ばらのまち福山のシンボルであるばら公園は、2024年4月に大幅リニューアルを終えた。今年度は、リニューアル後初めて本格的な開花を迎えたことから、生まれ変わったばら公園の魅力を広く発信するとともに、ばらガイドの実践の場を創出することを目的に、春および秋にばらガイドによる無料ガイドツアーを開催した。

<春>

実施日：2025年4月29日（火・祝）、5月5日（月・祝）

参加ガイド：4/29 5名 / 5/5 6名

参加者数（うち市内在住者数）：4/29 76名（57名） / 5/5 101名（67名）

合計：177名（124名）

<秋>

実施日：2025年11月1日（土）、3日（月・祝）

参加ガイド：11/1 7名 / 11/3 7名

参加者数（うち市内在住者数）：11/1 55名（31名） / 11/3 70名（15名）

合計：125名（46名）

参加者からは「説明があることで理解が深まった」「大変満足した」といった声が多く寄せられた。ガイド中には積極的な質問も多く、参加者同士やガイドとの会話も活発に行われるなど、双方向のコミュニケーションが生まれていた。

また、ガイドにとっても「楽しかった」「自信がついた」「〇〇さんのガイドが分かりやすく、見習いたい」などの声が聞かれ、前向きな姿勢や意欲の向上が見られた。



4. ガイドユニフォーム作成

ばらガイドの認知向上およびチームとしての一体感の醸成を目的に、ガイドユニフォームを作成した。



ローズマインドクラブ ユニフォーム特徴

- ・福山らしさを表現するため、地元産の「福山デニム」素材を使用した法被型のユニフォーム。
- ・左胸には、日本ガーデンツーリズムの公式ロゴを刺繍。
- ・襟元にはばらをイメージした赤色を配色。
- ・前面には「100万本のばらのまち」「ローズマインドクラブ」の文字を配置し、ばらのまち福山とガイドの存在感をPR。
- ・背面にはばらの刺繍とともに、英語フレーズ「Exploring Rose Gardens that Nurture the Community Spirit」「ROSE CITY FUKUYAMA」をデザイン。海外からの来訪者にも伝わりやすく、スタイリッシュかつ意味のあるユニフォームとなっている。

4) 事業名：秋ばらモニターツアー事業

(1) 事業概要

秋のばらシーズンにあわせ、ばらをテーマとした観光周遊の促進を目的に、モニターツアーを2本実施した。春に比べて知名度が低い秋ばらの魅力を体験してもらうとともに、今後のガーデンツーリズム商品の造成に向けた課題の把握を図った。

(2) 実施概要

実施日	コース名	主な訪問先	参加人数
11月6日 (水)	(南部コース) 秋のばら公園と 福山南部ぐるっと満喫コース	福山ばら公園、神勝寺、阿伏兎観音ほか	7名
11月10日 (日)	(北部コース) もっと知りたいばらの まち福山の魅力！秋ばらガーデン巡り	福山ばら公園、個人宅オープンガーデン 2か所、吉備津神社	11名

主催旅行会社：ニコニコ観光株式会社 販売価格 6,000円

- ・各コースとも、福山ばら公園でのガイド付き見学を起点に、地域の観光資源を組み合わせた内容とした。
- ・北部コースでは、個人宅オープンガーデンを訪問し、参加者との交流やおもてなしを体感できる機会となった。

・南部コースでは、紅葉シーズンに合わせて神勝寺・阿伏兎観音を組み込み、鞆未来トンネル開通により注目が高まる南部エリアの周遊を図った。

(3) アンケート評価まとめ

- ・両コースとも、全員が「とても満足」または「満足」と回答し、90%以上が「友人・知人に勧めたい」と回答するなど、高い満足度が得られた。秋ばらの見ごろに合わせたツアーとして、一定のニーズが確認された。
- ・特に北部コースでは、個人宅オープンガーデンのオーナーによる丁寧な説明が好評で、ばらの育て方に関する質問が多く寄せられるなど、参加者の関心の高さがうかがえた。福山らしい“ローズマインド”を体感できる機会となった。
- ・また、ばら公園ボランティアガイドの解説についても「分かりやすい」との評価が多数あり、ガイド育成の成果が現れた。

◆ポジティブな意見（抜粋）

- ・「ばら公園や個人宅のガーデンが丁寧に手入れされており、解説も分かりやすかった」
- ・「個人宅のガーデン訪問は初めてで感動した。おもてなしが嬉しかった」
- ・「秋ばらを見たいと思っていたところに手頃なツアーがあり、また参加したい」
- ・「春の花盛りの頃にもぜひ行きたい」
- ・「お弁当が上品な味で美味しかった」「紅葉の時期がよく、ゆっくり過ごせた」
- ・「県外の友人を案内したくなった」

◆改善が求められた点と対策案

- ・ばら公園の品種名プレートが見えにくい箇所がある
→品種名の理解は満足度向上に直結する重要な要素である。一方で景観とのバランスも考慮する必要があるため、来年度作成予定のリーフレットに代表的な品種情報を掲載するなど、補完的な対応を検討する。
- ・当日の日程表があると良い／終了時間を早めてもよい
→周辺の観光と組み合わせるニーズも想定されるため、参加しやすい行程設定および案内方法の見直しを行う。
- ・秋も良かったが春のツアーも希望
→個人宅オープンガーデンの評価が高かったことから、春シーズンにも同様の要素を取り入れたツアー造成を検討する。



5) 事業名：体験型ツアー・イベント事業

(1) 事業概要

ばらを見るだけでなく、様々な体験を通じてその魅力を体感してもらうとともに、ばらを楽しむ人同士が交流できる場を創出することを目的に、昨年度から取り組んでいる。

昨年度も実施したばらの接ぎ木体験に加え、新たにばらの撮影講座等を実施し、体験型コンテンツの充実を図ることで、新たなファン層の獲得につながった。

(2) 実施概要

1 ばらの撮影講座

実施日：2025年11月3日（月・祝）14:00～16:00

講師：福山写真家協会より4名

場所：

参加者：23名



募集チラシ

講座は、レクチャーと実際の撮影を交互に行う形式で実施した。被写体の配置や基本構図、光の向き、望遠と広角の違いなどの基礎知識を学んだ後、園内で実際に撮影を行い、実践的に理解を深めた。スマートフォンでも気軽に参加できる内容とし、ちょっとしたコツを学ぶことで写真の仕上がりが大きく向上することを体感してもらった。

参加動機としては「写真の撮り方を学びたい」という回答が多く、撮影を切り口とすることで、ばら愛好家とは異なる層へのアプローチにつながった。

また、魅力的な写真の撮影はSNSでの発信につながりやすく、ガーデンツーリズムとの親和性も高いことから、今後はハッシュタグ投稿キャンペーンの実施など、SNS施策と連動した展開を検討する。



2 薔薇と和菓子の手づくり体験会

実施日：2026年2月1日 9:30～16:30

価格：ひとり5,000円

スケジュール及び体験内容：

9:45～ばらの和菓子づくり体験

募集チラシ

11:00～福山城博物館 学芸員ミニガイドツアー

12:00～昼食/福つまみ宝さがし弁当

13:30～ばら苗づくり体験

参加者数：25名（福山市：12名、福山市以外の広島県：6名、岡山県：3名、徳島県：1名、大分県：1名、大阪府2名）
半数以上が市外からの参加であり、遠方（徳島、大分、大阪）からの参加もあり、Instagram を通じ広く集客することができた。

〈ツアー構成の工夫〉

ばらをモチーフにした和菓子づくり、学芸員による福山城ガイド、福山の特産品である「福つまみ」の昼食、接ぎ木体験を組み合わせ、福山ならではの魅力を一日で体感できる内容とした。

接ぎ木体験については、昨年とは苗を預かり成長後に返却したが、体験の醍醐味である「芽吹きを見守る楽しさ」を自宅で感じてもらうことを重視し、育成に必要な資材をキットとして用意した。その結果、遠方参加者を含め多くの参加者が持ち帰り、自宅での育成につなげることができた。

〈アンケート評価〉

参加者の満足度は非常に高く、全員が「とても満足」または「満足」と回答し、特に「とても満足」が75%を占めるなど、高い評価を得た。

◆ポジティブな評価（抜粋）

- ・和菓子づくりや接ぎ木など初めての体験が多く、充実した一日となった
- ・ばら会の方の丁寧な指導が印象的で楽しかった
- ・接ぎ木は難しさもあったが学びが多かった
- ・一人での参加でも楽しむことができた
- ・内容が充実しており、参加費も手頃で満足度が高い

〈課題・今後の方向性〉

- ・接ぎ木体験は初心者にとって難易度が高い面もあるため、より分かりやすい説明やサポート体制の充実が必要
- ・遠方からの参加も見られることから、公共交通機関で訪れる個人旅行者にも参加しやすい企画の検討が重要
- ・複数の体験を組み合わせたプログラムは評価が高く、今後も継続・発展させていく



6) 事業名：花壇コンクール

(1) 事業概要

福山明るいまちづくり協議会が年実施している「ばら花壇コンクール」において、2024年度より「ガーデンツーリズム部門」を設置。今年度においても市内の魅力あるガーデンの発掘し、観光資源としての花壇や庭園の可能性を広げることを目的に実施した

(2) 実施概要

応募期間：2025年3月3日（月）～31日（月）

応募総数：93花壇（※重複応募あり）

- ・ばらのまちづくり部門：69花壇
- ・ばらの花部門：24花壇
- ・ガーデンツーリズム部門：23花壇

ガーデンツーリズム部門受賞結果

大賞（3花壇）

- ・サルボ両備株式会社（福山サービスエリア上り線）
- ・おおもとウィメンズクリニック ・ガーデン富谷友の会

優秀賞（9花壇）

- ・ローズガーデン江草・天満屋ギフトショップ 能宗呉服店・小田 由美
- ・上本テニススクール・緑丘学区まちづくり推進委員会（緑ヶ丘学区高屋ばら花壇）
- ・若松町内会（若松ばら園）・戸手パンサーズ（戸手フレンズローズガーデン）
- ・トライアングル広場ばら花壇・ホロコースト記念館

受賞した花壇は、構成庭園とともにガーデンツーリズム参加ガーデンとして公式WEBサイトやリーフレットに掲載し、ガーデンツーリズムの魅力発信に活用している。

7) 事業名：ガーデン整備事業

(1) 事業概要

ガーデンツーリズムの根幹である市内ガーデンを、来訪者にとって分かりやすく訪れやすいものとするとともに、より多くのガーデンの参画を促進するため、目印となるプレートの制作およびオープンガーデン登録制度を開始した。

(2) 実施概要

1 プレート制作

協議会に登録されたオープンガーデンに掲示するプレートを制作した。訪問者が安心して立ち寄ることができる目印とするとともに、登録ガーデンにとっても参加意識や意欲の向上を図ることを目的として実施した。

制作枚数：30 枚

設置ガーデン：上記理由により、市が管理する公園を除く登録ガーデンに設置

デザイン：ばらを背景とした柔らかな印象のデザインとし、耐久性に優れた素材を採用



プレートデザイン

2 オープンガーデン登録制度

これまで、構成庭園およびばら花壇コンクールの「ガーデンツーリズム部門」において入賞したガーデンを、これまでガーデンツーリズム登録ガーデンとして位置づけてきた。しかし、コンクール入賞以外の意欲あるオープンガーデンが参加できる仕組みがなく、より多くの庭園の魅力を発信する機会が限られていた。

そこで、2025年度は、ばら花壇コンクールを通じた募集を継続しつつ、新たにオープンガーデン登録制度を設け、コンクールに参加していないオープンガーデンも受け入れられる仕組みを整えた。これにより、ガーデンツーリズムの裾野を広げ、地域の魅力向上および観光振興の促進を図った。

申請数：1（2026年春に審査予定）

○その他特筆すべき取り組みと成果

1) 世界バラ会議福山大会におけるガイドウォーク

(1) 事業概要

2025年5月18日から24日にかけて、世界バラ会議福山大会2025が市内で開催された。大会2日目に緑町公園で行われた歓迎昼食会後のガイドウォークにおいて、ばらガイドが参加し、大会参加者への案内を行った。

(2) 実施概要

大会期間中に開催されたRose Expo会場や花園公園、ばら公園などを巡る、約1.5kmのガイドウォークが実施された。

ばら公園内の5か所に設けられたガイドポイントにおいて、ばらガイドが市民による通訳ボランティアとペアを組み、案内を行った。参加者との会話を交えながら、ばらのまち福山の歴史や、公園のデザインの特徴等について説明を行い、参加者は熱心に耳を傾けていた。

実施日：5月19日（月） 13:30～17:00

参加ガイド：5名



2) 民間事業者と連携したスタンプラリー実施

(1) 事業概要

協議会メンバーであり構成庭園でもある「山陽自動車道福山サービスエリア（上り線）」を運営するネクスコ西日本との連携企画として、福山市内のサービスエリアとばらガーデン、観光スポットを組み合わせたスタンプラリーを実施した。

スタンプの取得数に応じてプレゼントに応募できる仕組みとし、市内周遊の促進を図った。

(2) 実施概要

期間：2025年4月19日（土）～6月30日（日）

〈対象施設〉

・ばら関連（6か所）

ばら公園、福山市園芸センター、春日池公園、ガーデン富谷、ホロコースト記念館、緑町公園

・観光スポット（3か所）

福山城、鞆の浦、アリストぬまくま

・サービスエリア（6か所）

吉備サービスエリア（上り・下り）、福山サービスエリア（上り・下り）、
小谷サービスエリア（上り・下り）

〈賞の内容〉

・コンプリート賞：各カテゴリーから2か所ずつスタンプを取得すると応募可能

・ローズ賞：各カテゴリーから1か所ずつスタンプを取得すると応募可能

・サービスエリア賞：サービスエリアとばらまたは観光カテゴリーから各1か所ずつスタンプを
取得すると応募可能

・ガーデンツーリズム賞：ばらおよび福山関連施設を各1か所ずつスタンプを取得すると応募可能

スタンプ台紙配布数：9,000枚

プレゼント応募数：518件

マスコミでの報道や世界バラ会議と同時期の開催により認知度が高まり、ネクスコ西日本が昨年度
実施した同様のスタンプラリーと比較しても、高い応募実績となった。

また、コンプリート賞への応募が全体の54%を占めており、ばら・観光・サービスエリアを組み合
わせた広域的な周遊行動が促進されたことが確認できた。



スタンプラリー台紙



スタンプデザイン

〇まとめ

(1) 全体を通しての効果や成果

情報発信・人材育成・体験・受入体制整備の各取組を連動させることで、「ばらのまち福山」の魅力を市内外に発信するとともに、地域資源を活かした新たな観光価値の創出につなげることができた。特に今年度は、本市において世界バラ会議福山大会 2025 が開催され、ROSE EXPO2025 をはじめとする関連イベントの実施により、国内外からの注目度が高まった。この機運を捉え、各取組を効果的に展開することで、取組 2 年目として昨年度より一歩踏み込んだ施策を実施することができた。

具体的には、SNS や公式 WEB サイト等での情報発信により、ガーデンツーリズムの認知が徐々に広がり、ガイドツアーや体験プログラムに多くの参加があった。また、認定ばらガイドの養成講座やスキルアップ講座の実施に加え活躍の機会が拡大したことで、ガイド自身の向上意欲が高まり、質の高い案内体制の構築が進んだ。

加えて、ばら花壇コンクールやオープンガーデン登録制度の創設を通じて、参加意欲の高いガーデンとのネットワーク形成が進み、ガーデンツーリズムの裾野拡大につながった。

アンケートでは、「また訪れたい」「自宅でもばらを育ててみたい」といった声が多く寄せられ、来訪意欲の向上や地域への愛着醸成につながっていることが確認された。ガイドや関係事業者との連携も深まり、ガーデンツーリズムを軸とした持続可能な地域観光の基盤づくりが着実に進んでいる。

(2) 今後の取組

今年度実施したモニターツアーや体験プログラムの実績およびアンケート結果を踏まえ、来年度はツアー内容のさらなる充実を図る。具体的には、コース設定や時間配分の見直しに加え、町歩きやフラワーアレンジメントなど、ばらに関する多様な体験型プログラムの拡充を検討する。

また、春のばらシーズンには、市内の個人ガーデンを含むばらガーデンを気軽に周遊できるバスツアーを実施し、福山市最大のイベントである福山ばら祭当日の運行も予定している。さらに、旅行事業者による旅行商品の造成を促進するため、新たな助成金制度の創設を予定している。

認定ばらガイドについては、引き続きスキルアップ研修の充実を図り、案内体制の質的向上を目指すとともに、無料ガイドツアーの開催を通じて、市民および観光客への認知拡大を図る。

情報発信の面では、Instagram 等の SNS を活用したリアルタイムな情報提供を強化するとともに、ばら公園・緑町公園・花園公園の 3 公園を一体的に紹介するリーフレットを作成し、訪問者にとって分かりやすく興味を喚起する情報提供の仕組みづくりを進める。

このような取組を通じて、「ローズマインドに会う旅」をさらに進化・深化させ、福山を単なる観光地ではなく、人々の心に残る“ばらの体験の場”として育てていく。市民と観光客がともにばらを育み、その想い＝ローズマインドを共有しながら、「世界に誇るばらの聖地・福山」の実現に向け、着実に歩みを進めていきたい。